

平成25年度関東学生ホッケー連盟総会議事要旨

日時：平成26年2月22日（土）18:30～19:20

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター内 センター棟310号会議室

1. 総会成立と議決権者の確認、及び役員の出席状況

①総会成立の確認

以下の通り、社会人理事と学連委員の出席者は55名であり、出席者率は68%となり、定足数（過半数）を満たしていることから、総会の成立が確認された。

- ・社会人理事 40名 うち出席26名（本人出席16名、委任状10名）、欠席14名
- ・学連委員 40名 うち出席29名（本人出席22名、委任状7名）、欠席11名

②議決権者数の確認

- ・議決権者数 55名（前述①の出席者数）

③役員の出欠状況

- ・役員 31名 うち出席 25名、欠席 6名

2. 議事内容

監事より、総会に提出された決算書及びその他書類は正確かつ適正である旨の監査報告が成された。

④議案の審議

イ) 第1号議案 平成25年度事業報告

春秋両リーグ、全日本学生ホッケー選手権大会や第62回男子・第35回女子全日本学生ホッケー選手権大会等の大会、各セミナー・講習会等平成25年度に実施された事業の報告があった。また、清泉女子大学・法政大学女子・国際医療福祉大学ホッケー部が部員減少のために平成25年度を持って本連盟を脱退するとの説明があった。

ロ) 平成25年度決算報告

平成25年度関東学生ホッケー連盟決算についての報告がなされた。収入実績は日本協会と東京協会の財政事情から補助金が削減されたため予算より減少した。支出においては、予算に計上されていなかった平成24年度分の日学連宛て未払い金等の追加支払いにより一般経費が増加したものの、各部門で支出削減努力がなされたため予算より支出を抑えることができたという説明があった。

ハ) 第2号議案 平成26年度事業計画

平成26年度に実施を計画している大会、講習会・セミナー等の説明があった。今年度から東日本学生ホッケー選手権大会が廃止されるため、新たに全日本大学ホッケー大会東日本第4代表選考大会の開催を予定しているとの説明があった。

二) 平成26年度予算案

今年度は大きな大会が関東で行われなため支出を抑えられるため大幅な黒字予算となることが説明された。また、近年グラウンド使用料の増加、各種補助金の減少、大会スケジュールの過密化による経費増加により赤字予算が続いていたことに加え、平成27年度からは日学連主催大会を地方主管で行う計画があるため、費用負担に伴う支出増加が見込まれる。従って収支の均衡・財務基盤の構築のためにグラウンド使用料を見直し引き上げることとなったとの説明があった。

以上第1号議案及び第2号議案の承認を一括して議場に諮ったところ、満場一致の賛成で承認された。

ホ) 第3号議案 法政大学女子・清泉女子大学・国際医療福祉大学ホッケー部

関東学生ホッケー連盟脱退について

3校の脱退について、連盟規程第8条「正当な理由をもって脱退を表明する大学は別途定める方法により脱退理由を提出し、総会の承認を得なければならない。」に基づき承認の決議を議場に諮った。

へ) 第4号議案 平成26年度学生役員の承認

事務局より、平成26年度学生役員候補9名が紹介された。

学生役員の承認を議場に諮ったところ、満場一致の賛成で承認された。

ト) 第5号議案 平成26年度・27年度社会人役員の選任

事務局より、社会人役員候補者21名が紹介された。

社会人役員の選任を議場に求めたところ、満場一致の賛成で承認された。

以上